

進路だより vol.6

小林中学校進路指導部

R6.11.8

☆ 第2回進路希望調査を配付しました



昨日、第1回進路希望調査の結果が、栃木県公式ホームページにて発表されました。ロイロノートの「進路指導部」に送っておきましたので、確認しましょう。また、本日、第2回進路希望調査を配布しました。必ず保護者の方と相談して記入しましょう。

前回は、『なんとなくここかな』という考えで書いた人もいるかも知れませんが、今回は、自分の思い描く進路の希望がないと困ります。保護者の方と相談してもどうしても書けない場合でも、「こんな高校に行きたい」、「高校でこういうことを学びたい」など、自分の進路について考えることができているならば、みなさんの実力も踏まえた上で、先生と一緒に高校を探すこともできます。心配な人は、早めに相談してください。

11月20日（水）提出締切り厳守です。ファイルに入れて担任の先生へ提出してください。

※保護者の皆様も御一読ください↓

〈記入についての注意事項〉

- ・記入自体は、生徒本人が丁寧な字で書く。（志望校や学科の名前を正確に把握する！）
- ※一部私立高校では、学科名が昨年度から変更されています。HPやパンフレットで最新情報を確認しましょう。
- ・ボールペン（黒）を使用すること。消せるボールペンは使用不可。（心配な場合は、下書きをする！）
- ・間違えた箇所を修正する場合は、ボールペンで二重線を引き、その上に訂正印を押す。（修正テープは不可！）
- ・保護者名は、保護者の方に自署してもらう。（必ず相談し、保護者の方の了承を得る！）

☆ 県立高校特色選抜とは？



1・2年生のみなさんは、特色選抜とは何か知っていますか？各高校が示す「特色選抜に出願するための資格要件」を満たす人が、合格内定後に必ず入学することを条件に、面接や作文・小論文試験で受検する方法です。特色選抜が不合格の場合でも、約1か月後に行われる一般選抜（5教科学力試験）を受検することができます。今まさに、3年生が特色選抜を受検するかどうか、三者懇談で相談をしているところです。

一見すると、受検しても不利益がないように見える特色選抜ですが、安易に「2回チャンスがある」と考えるのは危険です。志願理由書や面接で自分をアピールできるのか、不合格となった場合の精神的ショックや面接・作文対策に費やしてきた時間を一般選抜までに取り戻せるのか、などのデメリットについてもよく検討する必要があります。世の中学3年生の多くは、一般選抜に向けて1分1秒を無駄にせず、学力試験の勉強に費やしています。特色選抜を検討するポイントについてよく考えて、後悔のないようにしてほしいです。

〈特色選抜を検討する際のポイント〉

- ・志望校のアドミッションプランや特色選抜に出願するための資格要件に当てはまっているか。
- ・志望校についてよく理解しているか。入学したい強い意志はあるか。
- ・他の人にはないPRポイントがあるか。それをしっかりアピールできるか。
- ・面接や作文・小論文など、即興的に考えたり臨機応変に対応したりすることは得意か。
- ・1～3年の評定の合計や欠席・遅刻・早退の日数はどうか。
- ・特色選抜が不合格でも、一般選抜で十分に合格できる学力はあるか。（第1志望であればなおさら）



※令和9年度入試（現1年生が3年生の時の入試）では、特色選抜が一般選抜と同日程になり、学力試験も実施されるなど、大幅な変更があるようです。最新の動向に注視してください。